

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

情報メディア発展のもとでの新しい地域研究

研究テーマ名

新たな華語情報環境のもとでの中国研究が示唆する次世代型地域研究

責任機関

国立大学法人北海道大学

研究実施期間

平成26年10月～平成29年9月

研究プロジェクトチームの体制

| 氏名 | 所属機関・部局・職名 |
|--|--------------------------------|
| 研究代表者兼グループリーダー (法学班) 鈴木 賢 | 北海道大学・大学院法学研究科・教授 |
| 分担者 徐 行 | 北海道大学・大学院法学研究科・講師 |
| 李 妍淑 | 北海道大学・大学院法学研究科・助教 |
| グループリーダー (メディア研究班) 渡邊 浩平 | 北海道大学・大学院メディア・コミュニケーション研究院・教授 |
| 分担者 西 茹 | 北海道大学・大学院メディア・コミュニケーション研究院・准教授 |
| 玄 武岩 | 北海道大学・大学院メディア・コミュニケーション研究院・准教授 |
| グループリーダー (政治社会班) 柿澤 未知 | 北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・准教授 |

配分（予定）額

（単位：円）

| 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 3,675,000 | 3,440,000 | 2,634,000 | 2,001,000 |

※平成27年度・平成28年度・29年度については予定額

研究目的の概要

これまでの地域研究は、当該地方で発行された現地語文献、現地での聞き取り、観察を主要な情報源として行われてきた。中国研究についても同様の傾向があった。しかし、グローバル化の進展と情報通信技術の発展により、地域研究をめぐる情報環境には大きな変容が生じている。すなわち、研究対象とする地域に関する情報が、国境を越えてグローバルに流通するという状況の出現である。とりわけ華語メディアは、中国の国境の外から全世界へ、また中国の中から全世界へと大量に発信されている。加えて、中国では権威主義的政治システムに媒介されて公式メディアのデジタルによる統合が知的財産権問題を顧慮することなく、上から強制的に構築されているという特殊な事情がある。こうしたコンテンツもまた国境を越えて商業的／非商業的に流通している。中国の権威主義的政治体制の特異性と経済的、軍事的なプレゼンスの拡大が、華語メディアの大量越境を促進している。

こうした情報環境のなかで、将来の中国研究は、ますますグローバルに越境する大量の華語情報をも踏まえたものであることが求められる。つまり、華語情報の越境時代に即した新たな中国・中華研究の枠組みが求められているのである。本研究ではこうした状況を踏まえ、新たな華語情報環境に即応した中国・大中華・華人研究のための情報集約方法およびスタンダードを確立し、汎用性のある華語情報ポータルサイト「グローバル華語情報プラットフォーム」（簡体字版、繁体字版）の確立を目指す。それにより新たな情報環境のもとでグローバルな越境情報をいかに地域研究一般に活用し、現地情報との協働を図るかについての次世代地域研究モデルを提示することを目的とする。

研究計画の概要

国境を越えてグローバルに展開する華語メディアの勃興、権力による上からの情報デジタル化の進展など急激な情報環境の変容が、中国・大中華・華人研究にいかなる対応を迫っているかを、法学、メディア研究、政治社会の3分野に即して方法論レベルで整理する。具体的には、各班の研究分野に即して、内外の華語情報の収集・分析を行うとともに、中国および欧米各国の越境華語メディア（活字、放送、インターネット）の現場で聞き取り調査を行い、以下の3点を明らかにする。

- (1) 国家主導による情報環境の統制とその変容のありよう
- (2) メディアの産業化およびネット世論の形成の現状
- (3) 国境を越えてグローバルに広がる華語メディアの展開と大中華メディア空間の誕生

さらに、新たな情報環境のもとでの研究情報共有の場（＝華語情報ポータルサイト「グローバル華語情報プラットフォーム」）を構築する。中国大陸で閲覧が可能な大陸版（簡体字版）と中国境外の利用者向けの中華圏版（繁体字版）を作成する。同時に、新しい世代の中国・中華研究者を育成するために、日本の中国研究入門者のためのサイトも構築する。これらは華語情報へのアクセスのための基本的なインフラストラクチャーとも言うべきものであり、次世代地域研究へのモデルとなる。中国語による知の拠点の形成を日本発で行う条件を整備する。昨今、グローバル化＝英語化とされかねない風潮が支配的になるなか、本プロジェクトではあえて英語につぐスケールでグローバルに勃興する華語情報に焦点を当てる。華語情報を入門者から、研究者レベルまで段階的に使うための華語情報ポータルサイトを構築することは、日本における中国、大中華、華人研究者のスムーズな育成を助ける上で、意義のあることである。すなわち、本プログラムの実施により、中国語情報を通じたグローバル人材育成の拠点形成に寄与することが期待される。

最終的には、中国研究を取り上げて以上の作業を行うことを通して、新たな情報環境のもとでのグローバルな越境情報をいかに地域研究一般に活用し、現地情報との協働を図るかについてのモデルを提示する。